

2010・9・10

# 九条の会

第140号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303  
TEL 03-3221-5075  
FAX 03-3221-5076

## 各分野の特徴を生かして「会」の活動

### 分野別の「会」の交流集会

「九条の会」と全国レベルの分野別の「会」が随時開いている「分野別の『会』交流会」が9月7日開かれました。「交流会」では最初に小森陽一事務局長が、井上ひさしさんを偲んで開かれた6月19日の「九条の会講演会」以降の各地のブロック別交流集会の開催予定や、「九条の会憲法セミナー」の開催状況を報告するとともに、今後の組織・活動の在り方について問題提起をしました。

つづいて、各「会」から活動の概要が報告されました。

**【マスコミ】** この11月にAPECでオバマ米大統領が来日するとの話があり、オバマ大統領あてに安保廃棄に関する英文の署名を集めようという提案があったが、オバマ大統領についての評価をはじめ、9条の会と安保条約の関係などいろいろな意見が出て、今後も議論をしていくことにした。

**【医療者の会】** 賛同者が結成時の10倍余、16府県にも独自の「会」ができた。9月25日に記念集会を開く。

**【音楽の会】** 若者を組織することに注

### 九条の会第10回憲法セミナー ＝核のない平和な世界と憲法9条＝

◇日時 10月30日(土) 13時30分～

◇会場 くにびきメッセ国際会議場  
(島根県松江市)

◇講演

- ・平岡敬(元広島市長)
- ・高遠菜穂子(イラク支援ボランティア)

◇参加費 1000円(学生500円)

◇申込み メール、FAX、電話で九条の会事務局へ

目し、グループを編成して全国を回ることを検討している。

**【教育・子育ての会】** 地道な学習を重視しているが、先日町田市で開いた学習会には市民と学校現場の人、若い母親が子どもをつれて参加しており、活動の趣旨が理解されてきたと思っている。12月に宮城で全国集会を開く。

**【俳人の会】** 小澤昭一氏、金子兜太氏などの俳人を講師にした「つどい」が大きな反響をよび同人誌などでもとりあげられている。

このほか、「映画人の会」の記念集会（11月）、「女性の会」講演会（10月7日、池辺晋一郎氏）、などが紹介されました。

## 北陸ブロック交流会を開催

8月22日、金沢市勤労者プラザで、九条の会北陸ブロック交流会が開催されました。このブロック交流会は、この間、関西、中国、東北、関東の各地で開催されてきた交流会に続いて5番目のものです。参加者は、会場の定員を大きく上回る106名で、室外の暑さに負けないくらいの熱気に包まれました。

開会にあたり、九条の会・石川ネット呼びかけ人の岩淵昌明弁護士が、主催者代表のあいさつをおこない、新しい改憲情勢も見すえての息の長い活動と呼びかけました。

続いて、九条の会事務局員の小沢隆一東京慈恵医大教授が、「改憲の動向と九条の会の役割」と題して講演し、憲法9条と安保条約のせめぎ合いの歴史と現状、九条の会の6年間の活動が果たした役割、改憲手続法の施行、国会法等の「改正」、衆院比例定数削減、普天間基地問題など、9条をめぐる最近の動きについて述べ、最後に「これからは長丁場になる」、「憲法を守るだけでなく積極的に生かしていく」という加藤周一さんの言葉（第2回全国交流集会 2007年11月24日）にふれながら、九条の会が地域や各分野で広く、深く根ざした活動を進めていくことの意義を強調しました。

その後、午前中の全体会では、石川、富山、福井から2つずつ計6つの会が活動報告を行い、それぞれの創意工夫溢れる活発

な活動の様子や現在の課題などが紹介されました。

午後は、3つの会場に分れての分散会とし、参加した各会の活動のより詳しい紹介と意見交換が行われました。報告者は40名ほどが出席した第1分科会に参加しましたが、地域の各戸を訪問して9条改憲反対の署名を呼びかけて話し込んだり、わかりやすい資料を作成して普及したり、「愛と平和の市民塾」、「9条ファンクラブ」などネーミングを工夫したり、のぼり旗を立てて道行く車にアピールしたりと、各地域の状況に即した多彩な活動が進められていることが紹介されました。

北陸3県という地域の状況に共通点の多いブロックでの交流は、「戦争いやわいね」、「しゃべらんまいね九条のころ」のような「おくに言葉」をまじえて心通わせあう独特の温かさがあります。時が経つのも忘れるほどの楽しい一時でした。（「九条の会事務局＝小澤隆一・記」）

## 元農協組合長らが「九条の会」結成

【みやぎ】8月31日、宮城県内の農協組合長経験者ら約30人が、仙台市青葉区で「みやぎ農協人9条の会」の設立総会を開きました。総会後に記者会見した阿部長寿会長（みやぎ登米農協前組合長）は、「平和な世の中でこそ農業は発展できる。日本の自給率は4割にとどまり、食糧の危機管理上も平和は重要だ。憲法を変えてはいけない」と強調しました。

会は今後は、組合員に参加をよびかけ、街頭活動などをつうじ、戦争の悲惨さや改憲阻止を訴えていくとしています。